

# 多機能型事業所みらい(生活介護・就労継続支援B型)

## 平成26年度事業計画

### はじめに

高齢化をはじめ対応が困難なケースが増えている現状から、個別支援計画会議やケース会議の充実等を図り、良質な支援提供に努めます。また、障害者総合支援法の今年度施行分の内、「障害支援区分」「ケアホームとグループホームの一元化等」については、利用者 と密接な関係があることを踏まえ、職場内研修を実施し、制度の理解や運用等について齟齬が生じないように努めます。また秋頃を目途に、開設以来初めての「第三者評価」受審を 予定しており、年度当初から事業所の自己評価集約に向けて職員全体で検討を進めてまい ります。この受審を契機に事業所の改善点の抽出はもとより障害者支援の在り方全般につ いての職員理解を深めたいと考えています。

### 1. 事業所の運営方針

#### (1) 生活介護事業

- ①知的に障害がある18歳以上の人に対し充実した日中活動の場を提供し、地域で当 たり前の生活ができるよう支援する。
- ②生産活動・創作活動をとおして社会の一員として働く喜びを得るとともに、基本的 生活習慣の体得ならびに社会性の向上を図る。

#### (2) 就労継続支援B型事業

- ①知的に障害がある18歳以上の人に対し働く場と充実した日中活動の場を提供し、 地域で当たり前の生活ができるよう支援する。
- ②生産活動をとおして社会の一員として働く喜びを得るとともに、社会性の向上を図る。

### 2. 事業所の支援方針

- (1) 基本的な生活習慣を確立し、健康の維持と精神的な自立と安定を図る。
- (2) 個別支援計画に基づき、利用者のニーズに見合った質の高いサービスを提供する。
- (3) 利用者の主体性を重んじ、自己決定ができるように支援する。
- (4) 活動をとおして自主性・主体性が培われるよう支援を行う。(生活介護)
- (5) 就労に必要な能力、知識を得るための支援を行う。(就労B型)

### 3. 事業所の管理体制(定員:各事業20名)

#### (1) 職員体制

##### ①生活介護事業

常勤職員：管理者(1) 主任(兼サービス管理責任者)(1) 生活支援員(3)

非常勤職員：生活支援員(2)・事務員(1)・管理栄養士(1)・嘱託医(1)

看護職員(1)・送迎添乗員(2)・送迎運転手(4)

##### ②就労継続支援B型事業

常勤職員：管理者(1) サービス管理責任者(1) 職業指導員(1) 生活支援員(1)

非常勤職員：生活支援員(2)・事務員(1)・管理栄養士(1)・嘱託医(1)

送迎添乗員（2）・送迎運転手（4）

③両事業共通

常勤職員（再掲）：管理者

非常勤職員（再掲）：事務員 管理栄養士 嘱託医 送迎添乗員 送迎運転手

業者委託：送迎運転手（1）送迎添乗員（7）・調理師（1）・調理員（1）

（2）設備管理 専門業者に委託

①消防設備点検、建築設備定期点検、受水槽清掃・点検、害虫駆除等建物内消毒  
昇降機・自動ドア定期点検、電気設備定期点検、空調設備清掃及び点検

②防災設備の点検および警備

（3）車輛管理 送迎車の法定点検、定期点検、故障や部品交換が必要な場合、随時対応

（4）その他 備品などの管理

4. 活動の内容

[ 日課 ]

午前			午後		
8：45～9：45	登所・更衣 (1.2便送迎)	生活	13：10～15：00	活動（15分休憩含む）	
		B型	13：00～15：15	活動（10分休憩含む）	
9：45～10：00	朝礼・体操	生活	15：00～15：40	掃除・更衣	
		B型	15：15～15：40		
10：00～12：00	活動（10～15分 休憩含む）		15：40～15：50	終 礼	
12：00～13：10	昼食・休憩	生活	15：55～	降 所	
12：00～13：00		B型			

※但し、水曜日午後のクラブ活動を実施する際は、両事業とも活動時間を13：00からとする。

[ 週間プログラム ] 例（※グループにより活動内容は異なる）

	月	火	水	木	金
午 前	活 動	活 動	活 動	活 動	活 動
午 後	活 動	活 動	クラブ	活動／自治会	活 動

○第1～第4水曜午後…クラブ活動 ○第1木曜午後…自治会活動

5. サービスの内容

**生活支援**

基本的な生活習慣の確立を支援すると共に、精神的自立や生活意欲の向上、健康の維持増進、余暇活動などの支援を通じて、ゆとりと潤いのある生活を感じ取れるよう下記により支援する。

○人格の尊重を基本に、基本的な生活習慣と生活リズムを確立する。

○情緒の安定を図ると共に、集団生活の規制や画一化を可能な限り少なくする。

○可能な限り家庭との連携を図り、家庭との協力関係を緊密なものにする。

### ◎行 事

事業所も地域の構成員であることを前提に、豊中市や地域主催の行事に積極的に参加する。1年をとおした余暇支援が可能となるよう各月ごとに行事を設定する。

(年間予定)

月	行 事 名	単 位
4	花見 味覚狩り	生活介護・就労B型 生活介護
5	味覚狩り 原田校区ふれ愛ひろば	就労B型 両事業合同
6	グループ外出	両事業合同
7	芸術鑑賞会 社会見学	就労B型 生活介護
8	納涼祭	両事業合同
9	芸術鑑賞会 社会見学	生活介護 就労B型
10	スポーツフェスタ さんさんGOGOまつり 一泊旅行	法人全体 両事業合同 両事業合同
11	文化祭	両事業合同
12	原田校区ふれ愛クリスマス クリスマス会	両事業合同
1	新年会 ボウリング大会	両事業合同
2	社会見学	生活介護
3	社会見学	就労B型

注 行先等については、利用者自治会の意向を尊重する。

### ◎日中一時支援（私的契約）

家族の冠婚葬祭や急な外出で所定の時間に迎えることが困難な場合、時間を延長し支援する。利用料は私的契約に基づいたものとする。

### ◎クラブ活動、自治会など

【クラブ活動】（両事業合同で実施）

豊中市からの委託を受けた「障害者青年教室」事業を活用し実施する。健康維持やリラクゼーションの促進、社会的教養の習得と共に自主性・社会性を養成する。第1～4週目の水曜日の13:00～15:00に下記のとおり開催する。

1週目：習字、スポーツ、美術

2週目：リズム体操、お茶、音楽

3週目：お茶、ウォーキング、美術

4週目：リズム体操、お花、音楽

#### 【自治会活動】

作業・クラブ活動の内容をはじめ、事業所に関することや支援スタッフに対する要望など、みらいでの生活環境や活動内容について、利用者自らが、自由で活発な意見の交換を行い、主体性をもって取り組み、社会性を培うことを目的とする。

\*月1回第1木曜日の午後に実施。

\*自治会代表者（2名程度）を決め、毎月の自治会までに代表者会議の場を設け、自治会での議題や進行を話し合っ決めて。

\*誕生日会を毎月の全体朝礼後に行う。

\*行事への企画・実施に向けての参画

○その他：毎月1回、岡町図書館の協力を得ながら図書の貸し出しを行う。

毎月2～4人の利用者が図書係として、図書を分け、各グループへ運ぶ。  
地域との交流の場、また図書に触れる機会として活用する。

#### ◎社会技能訓練（就労B型）

公共交通機関の利用、金銭の授受、手紙の書き方、電話の掛け方、調理実習、社会的マナー等を習得するための訓練を就労継続支援B型計画に則り実施する。

#### ◎送迎

- ・バスの送迎運転、管理については「ジャパンリリーフ」に委託。
- ・医療機関への通院などは、可能な限り「特別送迎」として別便で対応する。
- ・利用者の増員や家庭の都合によってやむを得ずコースの変更をする場合、円滑に送迎できるよう調整する。

#### ◎健康管理、給食

##### ○健康管理

[山口記念診療所]

内科検診：年1回実施、インフルエンザ予防接種：希望者に対して実施

[施設内]

月2回健康相談を実施（嘱託医）。毎月1回体重測定実施（体重・BMIなど）。

また、日頃の健康管理とインフルエンザ、ノロウイルス等の感染症予防の情報提供を適宜行い、感染症予防に努める。事業所内での病気、けが等にはご家族等との連絡を取りながら迅速に対応する。

看護職員による健康管理を実施し、疾病などの早期発見に努める。

##### ○給食

①管理栄養士がカロリーや栄養素を検討し、また、毎月1回給食会議を開催し、利用者の嗜好や意見を給食に反映する。

②食育講習会を年2回開催する。食事マナーをはじめ「食」をテーマとした講習会を行う。

③年2回嗜好調査を行い、体調管理の面からも給食を考えていく。また希望の

メニューがあれば可能な限り、取り入れる。

④四季折々の季節食や行事での特別メニューを積極的に取り入れる。

## ◎防災

非常災害対策として、火災・地震を想定した防災訓練を年4回実施。

訓練では毎回異なる場面を想定して行い、利用者、スタッフともに臨機応変に対応できるように訓練する。また施設防火管理者の指示のもとで訓練状況を自己評価すると共に、防災ビデオの上映や消火器操作の訓練等も実施し、防災意識の醸成に努める。

## 活動（作業）支援

### 生活介護事業

- ・作業や創作活動をとおして物づくりの喜びや達成感を得ることが出来るように支援する。また、併せて体力維持・健康増進のための取り組みも行う。
- ・円滑な活動が可能となるよう、利用者の体力やニーズなどを考慮した3グループを編成する。

#### ① アタックグループ ②ファイトグループ ③チャレンジグループ

利用者1人ひとりの健康増進、創作活動を通して作る喜びや達成感を得る。作品出展の場を活用して、多くの人の目に触れる機会を持つ。

利用者の個々にあった作業を通してスキルの向上、自主性や社会性を培うと共に、余暇活動を行い、心身のリフレッシュを図る。

活動内容：はしまめ 内職作業 さをり 公園清掃 創作活動(作品の応募)  
ウォーキングなどの運動

### ○作業工賃

生産活動の対価として、工賃規程に基づき工賃を支払う。

### 就労継続支援B型事業

- ・利用者が作業をとおして生産する喜び、自信や達成感を味わえるよう支援する。
- ・就労に必要な能力・知識を得るための支援を実施する。
- ・基本的労働習慣の確立と就労意欲の向上を図ると共に、関係機関の就労支援事業に参加するなど利用者の社会参加を促進する。
- ・利用者を3グループに編成し、専門性を高め、自信と責任感が持てるよう支援する。

#### ①紙漉きグループ

基本的に紙漉き作業のすべてを行う。少人数でそれぞれの担当業務を行うことにより、専門性を高め、商品の質と生産量の向上を図る。

作業内容：紙漉き業務全般、販売など。

#### ②織りグループ

基本的に織り作業のすべてを行う。専用の作業空間を確保し、集中して作業に取り組

むことができる環境を提供することにより、商品の質と生産量の向上を図る。

作業内容：織り業務全般、販売など。

### ③内職・屋外作業グループ

屋外作業に取り組むことで、健康増進を図ると共に社会性を養う。また自ら生産したものを直接販売することにより、達成感や接客など人とのかかわりを習得する。

作業内容：親水水路園路清掃、インクカートリッジ・空き缶回収、農園作業、  
内職作業

#### ○作業工賃

労働意欲につながるものとして、工賃規程に基づき工賃を支払う。

## 6. 広報・地域活動

①「広報みらい」を年4回発行する。また、ホームページは、随時更新する。掲載する情報等のうち写真や氏名については、「個人情報保護法」に基づき、本人・ご家族へ通知するなど、慎重かつ適正に実施する。

②豊中市や原田校区主催の行事へ積極的に参加し、地域の方々に施設の活動を周知し、幅広い交流を促進する。

③地域にひらかれた施設運営を目指し、積極的に実習生、ボランティアを受け入れる。また、実習生が気軽にボランティアとして参加できるよう働きかける。

④障害のある方の体験実習も積極的に受け入れる。

## 7. 職員研修・会議等

### (1) 職員研修

専門的知識の習得や支援のあり方など学ぶため、積極的に個人研修への参加を促すとともに、法人全体による職員研修を年2回実施する。他機関や他事業との職員交流も積極的に行なっていく。

また今年度は、「第三者評価受審」を研修の一つとし位置付け、全職員で取り組むこととする。

### (2) 会議等

#### ○職員会議（両事業合同）

職員間の情報の共有やサービスの改善・向上を図るため、月1回の定例会議をはじめ、必要に応じ随時会議を行う。

#### ○ケース会議（両事業合同）

利用者ニーズの理解を基本に、職員が共通の認識のもとで、支援をより効果的なものとするため、毎月の定例会議をはじめ、必要に応じ臨時会議を行う。

#### ○生産活動推進会議（両事業合同）

新たな製品の開発や販売など、生産活動の在り方全般について検討協議する。

#### ○個別支援計画会議

両事業のサービス管理責任者が主宰し、計画策定時及び見直し時に支援計画の在り方、問題点等について協議する。

### ○事業別ミーティング

月1回、各グループの活動内容などについて意見交換し、より質の高いサービスが提供できるよう検討する。

### ○その他の会議

#### ・サービス向上委員会

法人各事業所間の連携を密に、各々の交流や協力体制を築き、利用者へのサービス向上を図るため、担当者会議を月1回行う。

#### ・運営会議

法人及び各事業所の運営を統一するため調整会議を月1回定例で行う。

## 8. 苦情解決

- : 2階3階EV前に意見箱を設置し、意見書カードにて苦情受付をする。
- : ご家族の苦情も連絡帳や家族会、個別面談の機会など、口頭でも常時受け付け、対応する。
- : 内容によっては、第三者委員の指導をいただきながら、円満な解決をはかる。
- : 利用者一人ひとりの声を大事にしながら利用者にとって信頼のおける施設であるよう対応する。
- : 最低年1回の事例報告を行い、第三者委員からの指摘や助言をいただき、日々の支援を見直す機会とする。

## 9. リスクマネジメント

利用者の安全・安心の確保のため、事故等の防止、虐待の防止等を目的に、職員会議の際、当該月の事故や「ひやりはっと」等を皆で原因を究明、検証し、危険な芽を早期に摘み取り、安全の徹底及び再発の防止に努める。

## 10. 家族会との連携

- : 家族会において、事業の現況報告や意見交換を行い、ニーズを踏まえた良質なサービス提供に繋げていく。
- : 製品の開発や販売など生産活動全般においても緊密な連携のもとに行う。